

会報

人と地域に寄り添う奉仕で、魅力的なクラブを！



2014.05.21 第1105回例会 No.24-42 2014.06.04発行

司会 SAA・親睦委員会 小泉 博
 点鐘 会長 萩生田政由
 ロータリーソング 「我等の生業」
 ソングリーダー 菊池 敏
 「四つのテスト」の唱和

SAA・親睦委員会 中谷 綾子
 会長 萩生田政由
 お客様紹介
 卓話講師

東亜建設工業(株)執行役員常務工事統括 五木田好成様
 同、土木事業本部機械グループリーダー 泉 信也様

会務報告 会長 萩生田政由

- ・ガバナーエレクトのお別れ会が平成26年6月11日(水)午後3時から、ハイアットリージェンシー東京センチュリールームで行われます。会費は1万円です。
- ・ロータリー平和センターホストエリアセミナー、第12回ロータリー平和センター年次セミナー、第11回ロータリーフェロー終了を祝う会が平成26年6月14日(土)、国際基督教大学東ヶ崎清記念ダイアログハウスで開催されます。

幹事報告 幹事 三田みよ子

- 座禅会の出欠確認回覧。
- ・ロータリー平和フェローシップパンフレット配布。
- ・ロータリー平和センターホストエリアセミナー回覧。
- 第24回ロータリー親睦ゴルフ北海道大会ご案内
- 多摩市こども広島派遣報告
- 社会福祉協議会ふくしたより5月号

次年度会務報告 会長エレクト 小田 泰機

- ・被選クラブ運営管理連絡会議を本日18時より開催致します。活動報告書の修正案は本日までに提出をお願いします。
- ・カンボジア、アジアの子供に文具教材寄贈支援、障がい者テニススクール、多摩市奉仕行事への参加、ロタキッドによるチャリティーコンサートの共催を本年度奉仕プロジェクトとして立案委員会に検討依頼しました。
- ・復興支援地区補助金にともなう復興支援プロジェクトは見送ります。
- ・多摩東グループの協議会で提案された合同奉仕プロジェクトは、当クラブとしては参加しないことにしました。
- ・次回被選理事会は6月11日午後4時からに変更になり

ました。
 ・活動計画書の編集を宮本会員にお願いすることに致しました。

【委員会報告】

出席報告 出席奨励委員会 峰岸 千尋

会員総数	36名
出席義務者数	27名
出席義務免除者	9名
出席者数 出席義務者	22名
出席義務免除者(MU1名含)	7名
計	29名
出席率	29/34 = 85.29 %
第1103回例会(5/7)訂正出席率	84.85 %

ニコニコBOX SAA・親睦委員会 入沢 修自
 萩生田政由 東亜建設工業(株)五木田好成様

本日の卓話楽しみです。
 三田みよ子 お客さまようこそ、本日の卓話楽しみにしております。

菊池 敏 五木田様 本日の卓話宜しくお願ひいたします。

峯岸 忠 五木田さん卓話宜しくお願ひします。
 峰岸 千尋 今日は雨でゆううつです。卓話 五木田様宜しくお願ひ致します。楽しみです。

森本 由美 五木田さま、雨の中ようこそロータリーへおいで下さいました。
 本日の卓話よろしくお願ひ致します。

宮村 宏 東亜建設工業の皆様今日のご苦勞様です。お話し楽しみにしています。
 村上 久 大松さん雨降りの日には畑は休みですよネ!

斎藤 誠壽 五木田様お話楽しみにしております。
 関岡 俊二 お客さまようこそ。
 柴崎 信洋 すごい雨ですね。髪を乾かすのが大変でした。

澄川 昇 五木田さん卓話よろしくお願ひ致します。

本日の合計 ¥16,000 (累計 ¥1,053,487)

その他委員会

ロータリー平和センター・ホストエリアセミナー 次年度地区ロータリー平和

フェローシップ委員 入沢修自

平和フェローパンフレットに案内の6月14日ICU
(国際基督教大学)開催のセミナーに是非いらしてください。

ロタフェロー キム キョンミンさん近況報告

ロタフェロー委員会 海野 榮一

ロタフェローの彫刻家キムさんより電話がありました。
長野県で選ばれて大きな作品を作るそうです。
近々パンフレットを取り寄せます。

卓話者紹介 プログラム委員長 菊池 敏

本日の卓話者は、東亜建設工業株式会社執行役員常務
工事統括、信幸建設(株)代表取締役社長五木田好成様
です。斉藤会員のご尽力により卓話をいただくこと
となりました。

卓話 「震災復興後の現状」



東亜建設工業(株)

五木田好成様

東北三陸沖には明治と昭和
に大きな津波が来ております。
釜石では、津波防波堤が完成
した直後のことでした。この
ほどの東日本大震災で、想定

したものをうわまわるかなり大きな津波が来てしま
ったので、これが全部崩壊してしまいました。私どもの会
社は港湾工事を得意としておりますので、今日は私共が
関与した港の復興ということを中心に話したいと思
います。

まず八戸港ですが、全部つながっていた防波堤がぼつ
んと残るだけになりました。それと、津波で海底が
えぐられて、深くなってしまって、港湾の設備として
は普通の深さまで埋め戻さなくてはならないという被害
も出ています。

釜石港は、ほぼ全滅です。津波の向きが南から北へ
行ったということで、北の防波堤は全滅ですが、南の防
波堤は一部残っていました。ここはものすごく深く、
通常は水深20メートル位ですが、地形的に釜石はリア
ス式海岸で突然深くなるので、この防波堤の深さは63
メートルあります。世界でいちばん深い防波堤で、規模
も大きかったのですが、それでも無残に全壊してしま
いました。

塩釜港は、5000トンの貨物船が乗り上げていま
した。この貨物船は、解体しました。

相馬港は相当な被害で、防波堤が半分やられてしま
いました。復旧が一番遅れている港湾の一つです。

小名浜港は、震源よりもかなり南にありますので、防
波堤はやられておりませんが、地震で岸壁、港湾施設が
やられています。液状化も発生しております。

復興作業で、最初にやったのは、航路のごみをどか
して走れるようにする、ということです。道路もそうす

が、航路も船を走れるようにします。津波でいろんな
ものが流されて、ガレキで海が浅くなってしまって船が
はいてこれないようになっていました。

海の中には、いろんなものが落ちています。コンテナ、
自動車、クレーン、漁業が多い地域なので網や養殖棚が
ごっちゃになっていました。これらを一個一個ダイバー
が拾っていきました。

国道45号線は、寸断されて使えません。45号線が
機能していればいろんな資材も輸送運搬できたのです
が、これが全く通れなくなってしまったのです。とにか
く最優先で道路を通してくれ、そうしないと資材・救
援物資が入れないということで我社に要請があり、取り
組みました。通常こういったことをやる場合には、仮設
の橋を通したりします。ふつうは栈台を置いて、その上
にクレーンを置いて作業するのですが、そんな時間はない
ので、海からフローティングクレーンを持って行って、
海上から作業をしました。

釜石では、ガレキを壊して、揚げて来て、陸上で細
く割るという作業をしました。そのあとに、ケイソンと
いうコンクリートの箱を作って沈めるのですが、これは
実はまだまだ終わっていません。世界でいちばん深い
ところなので、膨大な材料が必要です。ここと大船渡と
相馬がまだ若干作業が残っていて、あと2、3年かか
ると思います。相馬エリアはかなり波がきついエリア
でして、長年かけて造った防波堤、その防波堤がある
間はずでいたい作業ができたのですが、なくなってしまう
ところではとてもできませんので、わざわざ小名浜で
造って運んだという経緯があります。

それからもう一つ難物が残っていて、ガレキ、ご
みの山をどうしようかということです。ごみを燃やして
しまおう、ということですが、ごみのままでは燃や
せないで、よく選別をして、粒に直して燃えやすく
して燃やす、ということをしています。それともう
一つ大きな問題になりましたのが、福島原子力発電
所です。フクイチと称していますが、ここでは特殊
な技術が必要です。かなり放射線量が高い状況で
すので、わが社も放射能の入った土を流れ出ない
ように、粘土を混ぜたような固まるコンクリートを
かぶせて、汚染物が動かないようにするという作
業をやりました。

森林とか住宅地で汚染された土を除去するとい
う作業も大変です。屋根の上からは枯葉、道路・住
宅地はもちろのこと、全部丁寧に取るんですね。そ
れを集めて保管するという作業になります。

津波堆積土を有効利用するという観点から東北
大学との共同研究もしています。また、沼地の除
染については、上の方の本当に薄い汚染土の層
だけ採って来れる機械も作りました。少しでも
復興の役に立てればということで頑張っている
ところです。

お礼と点鐘

会長 萩生田政由

3.11以降、災害復興のためにご尽力いただき
まして誠にありがとうございました。今後とも
東北支援にご協力いただきたいと思います。
本日はありがとうございました。

(今週の担当：田崎 博実)